

平成30年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	02	産業
取組の基本方針	04	観光による産業の振興
まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	01	しごとをつくり、安心して働けるようにする

事業名	経済活動広報事業
担当課	経済部商工労働課

目的と 事業概要	市内の経済及び産業を市民に周知し、市内産業や市内企業を応援する市民を増やすとともに、企業間連携のきっかけとするため、市内各世帯に配布されるフリーペーパーえべつeyeや広報えべつに市内産業・企業をアピールする記事を掲載する。 また、同じくフリーペーパーであるJP01を50,000部発行し、市内、市外へ向けて江別の魅力を発信し、市内交流人口、定住人口の増加に繋げていく。
前年度までの 実施内容 と効果	江別の魅力発信のため、平成29年度にフリーペーパーJP01第2号を発行した。 また、市内各世帯に配布されるフリーペーパーえべつeyeや広報えべつに江別市の企業・産業等を紹介する記事を掲載した。 フリーペーパーえべつeyeは年3回シリーズで、北海道電力(株)総合研究所、(地独)北海道立総合研究機構 食品加工研究センター、(株)日本デジタル研究所を紹介し、広報えべつでは市内企業の(株)イチムラ、浅香工業(株)、(株)フラワーテクニカえべつ、雪印種苗(株)を紹介してきた。 これらにより、市内の知られざる企業や市内で活躍している人々などについて、より多く紹介できたところである。
H30年度の実 施内容	【意見募集にあたっての論点】 ○テーマについて 市民の視点を活かした広報活動を行うため、フリーペーパーへの記事掲載を前年に引き続き行う。 テーマについては、雇用拡大や販売促進、企業間連携の支援につなげるため、市内企業の紹介に重点を置いた内容とする。 ○方向性について 平成30年度の方向性として、フリーペーパーJP01については平成30年度の第3号をもって一旦終了し、今後はフリーペーパーえべつeyeの活用による市民に向けた市内企業周知に重点を置くこととする。

(単位:万円)

予算状況	H28決算	H29予算	H30要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
えべつeye発行費用	90.0	45.0	45.0	△45.0		△45.0
JP01発行費用 (JP01第1号はH28年度に他事業にて対応)		378.0	334.8	378.0	334.8	
計	90.0	423.0	379.8	333.0	334.8	△45.0
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他		200.0		200.0	200.0	200.0
一般財源	90.0	223.0	379.8	133.0	134.8	△245.0
主な増減理由(前年比)	フリーペーパーJP01については第3号となることから、より多くの広告費を見込み、市負担を減額する。					
査定内容	H30年度はフリーペーパーJP01の第3号(最終年次)であることから、JP01に注力することとし、えべつeyeへの記事掲載は見送ることとした。(△45.0万円)					

平成30年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	02	産業
取組の基本方針	03	観光による産業の振興
まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	01	しごとをつくり、安心して働けるようにする

事業名	地域発見魅力発信事業
担当課	経済部商工労働課

目的と 事業概要	江別の地域資源を掘り起し、近隣市に住んでいる子育て世代の方や札幌市に滞在する観光客を中心に、江別の魅力発信や日帰り観光情報を提供し、江別市の知名度向上や観光客の市内への入込数を増やす。
前年度までの 実施内容 と効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ドライブコースご当地ナビ事業(JAF) JAFのサイトに季節に合ったドライブコースを設定、江別市のドライブコースの閲覧数は全国でも上位にランクインしている。 ○さっぽろ広域観光圏推進事業 広域連携事業「アラサツスタンプラリー」の事業費負担金。江別市の登録ポイントは全体順位で1位を獲得するなど高い来場者数が得られた。 ○ノハナショウブ保存活用事業 ノハナショウブの保存活用に係る事業。群生地はJAFドライブコースにも設定し誘客につながっている。 ○江別市リアル謎解きゲーム事業 えべっくんクエストの実施により市外からの誘客や市内周遊の促進に寄与している。 ○地域おこし協力隊事業 市外からの目線で情報発信を行い、パンマップ等様々な形で地域資源のPRに寄与している。
H30年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ドライブコースご当地ナビ事業(JAF) ○さっぽろ広域観光圏推進事業 ○ノハナショウブ保存活用事業 ○江別市リアル謎解きゲーム事業 ○地域おこし協力隊事業 ○ものづくりワークショップ事業(他事業より移管) <p>情報発信の強化が観光振興における重要な課題とされるため、当事業で実施される観光情報発信について広く市民の意見を募集したい。</p>

(単位: 万円)

予算状況	H28決算	H29予算	H30要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
○ドライブコースご当地ナビ事業(JAF)	1.4	3.6	3.6		3.6	
○さっぽろ広域観光圏推進事業	50.0	50.0	50.0		50.0	
○ノハナショウブ保存活用事業	35.0	50.0	50.0		50.0	
○江別市リアル謎解きゲーム事業	180.0	180.0	180.0		180.0	
○地域おこし協力隊事業	193.3	260.8	314.7	53.9	279.2	△35.5
○ものづくりワークショップ事業			77.5	77.5	77.5	
その他(英語版観光パンフレット等)	28.0	108.0	22.0	△86.0	57.5	35.5
計	487.7	652.4	697.8	45.4	697.8	
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他	89.0	90.0	90.0		90.0	
一般財源	398.7	562.4	607.8	45.4	607.8	
主な増減理由(前年比)	平成29年度に新規作成した英語版観光パンフレット分の事業費が減少し、地域おこし協力隊4名で作成したコンテンツを有効活用した周遊へつながるMAP作成や、他事業で実施していたものづくりワークショップを移管したため、事業費が増加している。					
査定内容	特別交付税措置の上限額等を加味し、事業内での経費内訳を変更。					

平成30年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	03	福祉・保健・医療
取組の基本方針	02	健康づくりの推進と地域医療の安定

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	成人検診推進事業(結核予防・がん検診経費)
担当課	健康福祉部保健センター

目的と 事業概要	<p>がん検診等を受診することにより、疾病の早期発見・早期治療を図り、健康寿命を延伸することを目的とする。</p> <p>市内医療機関で個別に受診いただくほか、保健センターや公民館等を会場とした「集団検診」を実施しているが、平成30年度に集団検診の申込先や検診実施機関を一本化することで、市民のより受診しやすい体制を構築し、電話等により受診勧奨を行うことで受診率の向上を図る。</p>
前年度までの 実施内容 と効果	<p>保健センターでは、市民が集団検診を受診しやすい体制を構築するため、これまでも女性限定の検診日の設定や託児の実施、各地域の公共施設等を発着場所としたバス検診、インターネットによる検診予約を取り入れるなど様々な取り組みを行ってきたが、受診者数及び受診率は低下傾向にある。</p> <p>国におけるがん検診無料クーポン事業(現在は子宮頸がん、乳がんのみとなっている)の廃止や縮小も受診者数の減少の一因と考えられる。</p>
H30年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>現在、複数の集団検診プランを設定していることから、それぞれ申込先が保健センターや国保年金課であったり、検診実施機関であったりと受診を希望される方に分かりにくい状態であり、また、複数の検診実施機関で検診を実施しているため、違うプランで受診した場合に検診結果の表示方法等が異なる状況である。</p> <p>平成30年度から、がん検診等(保健センター等で実施する集団検診に限る)の予約受付及び電話・インターネット等による受診勧奨を一括して外部委託するとともに、検診実施機関を統一することにより、市民により分かりやすく、より受診しやすい体制を構築する。</p>

(単位:万円)

予算状況	H28決算	H29予算	H30要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
非常勤職員報酬	439.9	508.3	428.5	△79.8	430.7	2.2
印刷費等需用費	70.4	78.2	60.6	△17.6	59.9	△0.7
郵送料等役務費	95.8	167.8	196.5	28.7	216.7	20.2
がん検診委託料	6,243.7	6,136.7	6,624.2	487.5	6,543.7	△80.5
予約受付・受診勧奨等事務委託料			261.5	261.5	261.5	
計	6,849.8	6,891.0	7,571.3	680.3	7,512.5	△58.8
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他	45.0	45.0		△45.0		
一般財源	6,804.8	6,846.0	7,571.3	725.3	7,512.5	△58.8
主な増減理由(前年比)	<p>集団検診事務の一括委託により、電話等により受診勧奨を新規に開始することから、受診者数の増(がん検診委託料の増)を見込むほか、事務委託料を新規に計上する。</p> <p>また、受付等の事務を委託するため、保健センター内の非常勤職員人件費の減を見込む。</p>					
査定内容	<p>集団検診事務の一括委託により受診者数の増を見込むが、がん検診の項目によって受診率の伸びを精査して査定減とした。(△58.8万円)</p>					

平成30年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	04	安全・安心
取組の基本方針	02	地域防災力の向上

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	04	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしと健康を守るとともに、地域と地域を連携する
-------------------------	----	--

事業名	地域防災力向上支援事業
担当課	総務部危機対策室参事(危機対策・防災担当)

目的と 事業概要	<p>目的:市民の防災意識啓発・訓練支援による「自助・共助」の強化を図る。 概要:防災訓練及び防災意識啓発を目的としたセミナー等を行う。</p>
前年度までの 実施内容 と効果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の総合防災訓練 災害時協力協定を締結している民間企業等による防災用品の展示や体験コーナーを設けたほか、関係機関による災害対応訓練を実施。参加者約2000名に対して、防災意識の啓発を行った。 ・各種セミナーの実施 出前講座(約50回)及び自主防災研修会(年2回)を実施し、自助・共助意識の醸成を図った。 ・防災あんしんマップの作成 防災あんしんマップを作成し市民に配布することにより、防災情報の周知を図った。
H30年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、河川の氾濫による被害が全国的に多発しており、平成27年には茨城県鬼怒川の決壊、平成28年は台風の影響により、岩手県・北海道等において大きな被害をもたらし、さらには本年も九州北部において記録的大雨による甚大な被害があった。 ・当市は過去に何度も大水害に見舞われている地域特性を有し、水害による被害を軽減するためには河川が氾濫する前の迅速な避難行動が重要である。 ・平成30年度の総合防災訓練は水害を想定した住民参加型訓練を予定しており、浸水想定区域内住民による避難訓練、自治会等による避難所運営訓練、タイムラインに沿った市と関係機関との連携訓練を行うほか、降雨体験などのコーナーも設ける予定である。 ・上記のような水害を想定した住民参加型訓練の内容について意見をお伺いしたい。

(単位:万円)

予算状況	H28決算	H29予算	H30要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
総合防災訓練設営・運営経費	113.9	105.0	116.9	11.9	116.9	
各種セミナーの開催経費	44.7	91.6	86.0	△5.6	86.0	
防災マップ等作成経費	195.5	161.8	164.5	2.7	164.5	
その他経費	63.8	59.0	58.7	△0.3	58.7	
計	417.9	417.4	426.1	8.7	426.1	
財源内訳						
国・道支出金	170.0	200.0	200.0		200.0	
市債						
その他		10.0	10.0		13.1	3.1
一般財源	247.9	207.4	216.1	8.7	213.0	△3.1
主な増減理由(前年比)						
◇総合防災訓練設営・運営経費						
【増加理由】						
ビデオ撮影による訓練中継、バスによる避難者移送により経費が増加する。						
・ビデオ撮影による中継 10万円						
・避難者移送委託(高齢者等をバスで避難所まで移送) 4万円						
査定内容						
要求どおり予算計上						

平成30年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	06	子育て・教育
取組の基本方針	02	子どもの教育の充実

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	食育推進事業
担当課	教育部給食センター

目的と 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における食育については、「江別市の公立小中学校における食育の推進(指針)」に沿って、各学校が特色に応じた実践的な「食に関する指導」を行えるよう、必要な取り組みを強化するとともに、食生活の重要性について認識が深まるよう、保護者を含めた啓発に努める。 ・全国学力・学習状況調査等の児童生徒質問紙の結果において、朝食を食べない子どもの割合が、年齢が上がるにつれて大きくなり、特に中学校では女子の割合が大きく上昇していることから、栄養教諭による食に関する指導を全ての児童生徒に向け実施することを目指す。
前年度までの実施内容 と効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内公立小中学校において、児童生徒が正しい食習慣を身につけるために、栄養教諭による食に関する指導を実施。
H30年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭による食に関する指導時に「食習慣啓発リーフレット」を配布する。 ・家庭における正しい食習慣の啓発のための、保護者向け講演会を実施する。

(単位:万円)

予算状況	H28決算	H29予算	H30要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
印刷製本費			24.6	24.6	0.0	△24.6
報償費			15.0	15.0	0.0	△15.0
計			39.6	39.6	0.0	△39.6
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他						
一般財源			39.6	39.6		△39.6
主な増減理由(前年比)						
「食習慣啓発リーフレット」の印刷に係る費用による増と、保護者向け講習会の講師謝礼に係る費用による増。						
査定内容						
食育の推進については、栄養教諭や保健師等の協力体制のもと具体的な内容を再度検討することとし、保護者講演会と食習慣啓発リーフレットについては見送ることとした。(△39.6万円)						

平成30年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	06	子育て・教育
取組の基本方針	02	子どもの教育の充実

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	地域間交流・体験活動事業
担当課	教育部生涯学習課

目的と 事業概要	<p>【目的】 体験活動を通して子どもの可能性を引き出すとともに、地域・学校・家庭が連携することにより、教育力の向上を図る。</p> <p>【事業概要】 地元の資源を活用した活動内容を地域との連携により企画立案し、小学4年生から6年生を対象とした2泊3日の宿泊体験を実施した。</p>
前年度までの 実施内容 と効果	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度は、教育委員会が主導して企画し、全5回の日帰り体験活動(定員20名)を実施 ・平成29年度は、大麻泉小学校にて2泊3日(10月6日～8日)の宿泊体験活動を実施。 ・参加児童:大麻地区在住の小学4年生～6年生 15名 ・「江別のレンガ」を使ったピザ窯製作、地元食材の学びとそれに関する作業体験、地元食材を活用した手作りピザの作成 ・地域、学校と教育委員会が構成する実行委員会で、事業内容を企画、実施した。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者から離れ、同世代の仲間と2泊3日の宿泊と活動をやり遂げることで、子ども達の自己肯定感が高められた。 ・事業を地域等が企画立案、実施に協力することで関係者の社会教育に対する関心が深まった。
H30年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>体験活動の効果の向上を図るため平成30年度の以下の企画内容についてご意見を伺いたい。</p> <p>①平成30年度は平成29年度に引き続き、郷土教育や食育の観点を取り入れた地元のレンガ・食材等を活用する内容とする。</p> <p>②上記に加え、事前研修会を実施することにより、参加者の意欲と事業効果を高めるものとする。</p>

(単位:万円)

予算状況	H28決算	H29予算	H30要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
一般報償費	4.2	26.0	23.5	△2.5	23.5	
消耗品費	4.3	8.2	18.0	9.8	18.0	
印刷製本費		4.5		△4.5		
一般役務費	0.6	1.2		△1.2		
一般使用料賃借料	10.3	12.6		△12.6		
計	19.4	52.5	41.5	△11.0	41.5	
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他						
一般財源	19.4	52.5	41.5	△11.0	41.5	
主な増減理由(前年比)	<p>移動のための貸切バスを公用車に変更することにより、経費を削減する。 また、チラシ・パンフレット作成を内部印刷で行うことにより、経費を削減する。</p>					
査定内容	<p>要求どおり予算計上</p>					

平成30年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	07	生涯学習・文化
取組の基本方針	02	ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	セラミックアートセンター企画展開催事業
担当課	教育部郷土資料館(セラミックアートセンター事業担当)

目的と 事業概要	芸術・文化に触れて市民生活を豊かにしていくために、地元江別をはじめ、道内外の優れた陶芸作品や芸術作品の企画展を開催し、市民に芸術・文化鑑賞の場を提供する。
前年度までの 実施内容 と効果	平成7年度から道内外の美術館等と連携し、市内では鑑賞の機会の少ない優れた工芸作品の展示会を開催してきた。平成20年度からは市内高等教育機関との共催によるFUROSIKIフェスティバル、平成27年度からは市内中学校・高校美術部合同展を開催するなど、市民参加型の催しも実施している。 【平成27年度】 日本デザイン協会展「クラフト動物園」(公財日本クラフトデザイン協会との共催) 江別市中学校・高校美術部合同展(北翔大学との共催) えべつFUROSIKIフェスティバル(北翔大学短期大学部との共催) 【平成28年度】 トイレに見るやきもの文化～染付便器の民俗誌(協力 瀬戸市 瀬戸蔵ミュージアム) 江別市中学校・高校美術部合同展(北翔大学との共催) えべつFUROSIKIフェスティバル(北翔大学短期大学部との共催) 【平成29年度】 江別市中学校・高校美術部合同展(北翔大学との共催) えべつFUROSIKIフェスティバル(北翔大学短期大学部との共催) 平成30年度以降の企画の策定
H30年度の 実施内容	【意見募集にあたっての論点】 ・企画展開催全般(例:テーマ、手法、設備関連など)について ・東京国立近代美術館工芸館所蔵作品を借用展示する企画展の開催にあたり、貴重な工芸作品(陶芸・ガラス・木竹工・染織・金工・人形)を、より多くの市民に鑑賞してもらうための効果的な周知宣伝方法について ・北海道功労賞受賞記念展「(仮)手島圭三郎の世界」、江別市中学校・高校美術部合同展、えべつFUROSIKIフェスティバルの全市民的な広まりを持たせる開催方法について

(単位:万円)

予算状況	H28決算	H29予算	H30要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
展示会場整理員謝礼	17.3	5.2	66.5	61.3	66.5	
企画調査旅費	24.9	22.9	23.5	0.6	23.5	
消耗品費	1.9	1.3	7.2	5.9	6.8	△0.4
出品作品借用料			5.4	5.4	5.4	
図録等作成、作品輸送、会場設営委託料	410.5	18.9	316.3	297.4	308.5	△7.8
計	454.6	48.3	418.9	370.6	410.7	△8.2
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他	30.3		113.5	113.5	113.5	
一般財源	424.3	48.3	305.4	257.1	297.2	△8.2
主な増減理由(前年比)	・平成29年度は、作品輸送費等を要しない企画展を中心としたことから、一時的に事業費減となった。平成30年度は東京国立近代美術館工芸館の巡回展を開催することによる事業費増加。 ・巡回展は、作品輸送費等、事業費の大半を国負担で開催できることから、同規模の展示会に比べて市負担額は軽減される。					
査定内容	事業費精査の上、要求どおり予算計上(△8.2万円)					

平成30年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	07	生涯学習・文化
取組の基本方針	03	市民スポーツ活動の充実

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	スポーツ合宿誘致推進事業
担当課	教育部スポーツ課

目的と 事業概要	<p>【目的】 スポーツ合宿を誘致し、競技水準の高い選手や優秀な指導者との交流機会等を通じて、市民スポーツ活動の意欲の高揚と競技力の向上に資するほか、国際スポーツ大会等への市民意識の醸成を図るとともに市民スポーツの振興につなげることを目的とする。また、スポーツ団体等への市のPRを行うことでシティプロモートの推進に資する。</p> <p>【事業概要】 道外からスポーツ合宿を実施する団体等が市内のスポーツ施設、市内及び近隣の宿泊施設を利用し1回につき「延べ宿泊人数」が20名以上となる合宿を対象とし、「江別市スポーツ合宿誘致推進事業実施要綱」に基づき、次のとおり支援を行う。①送迎バスによる移動経費(上限30万円)、②合宿利用施設の使用料の減免(市のスポーツ施設を利用する場合)及び一部補助、③市の特産品贈呈(1人1,500円相当)</p>
前年度までの 実施内容 と効果	<p>(1) 事業開始 : 平成28年8月 (実施要綱制定 平成28年5月30日市長決裁)</p> <p>(2) 実施内容 : 【H28年度実績】 野球、フィールドホッケー、バスケットボール、シンクロナイズドスイミングの各団体 7件 204名 【H29年度実績】 水球、バスケットボール、ラグビー、野球、フィールドホッケー、バレーボール、シンクロナイズドスイミングの各団体 11件 406名(9月末まで) ※このほか年度内に3団体実施予定</p> <p>(3) 実施効果 : 各団体の協力により、合宿期間中の練習公開、市内の該当競技チームとの交流試合や合同練習のほか、少年団等への技術講習会、指導者講習会等を実施し、競技力の向上等の市民交流を図ることができた。</p>
H30年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 平成30年度の事業実施にあたり、支援内容等に関する実施要綱の一部見直しを図る必要があると考えており、以下の項目についてご意見を伺いたい。</p> <p>(1) 支援を行う合宿団体等の対象範囲について (2) 合宿団体等への現行の支援3項目の内容と支援経費について (3) 合宿団体等に協力を求めている市民との交流内容に関するアイデア等について</p>

(単位:万円)

予算状況	H28決算	H29予算	H30要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
合宿誘致PR経費(旅費・印刷製本費等)	50.0	18.0	23.0	5.0	18.4	△4.6
バス等送迎経費(使用料・賃借料)	47.0	239.2	181.6	△57.6	180.0	△1.6
施設使用料補助金(負担金・補助及び交付金)	5.7	284.3	55.0	△229.3	55.0	
特産品贈呈経費(消耗品費)	30.8	33.8	71.4	37.6	47.6	△23.8
警備員配置(委託料)		1.3		△1.3		
計	133.5	576.6	331.0	△245.6	301.0	△30.0
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他	32.0	50.0		△50.0	120.0	120.0
一般財源	101.5	526.6	331.0	△195.6	181.0	△150.0
主な増減理由(前年比)						
<p>(1) H29年度予算 ①当初予算額 3,050千円 ②補正予算 2,716千円 計(①+②)5,766千円 ・水球日本代表チームの強化合宿受入れに関する経費として追加補正計上した。</p> <p>(2) H30年度においては、前年度実績値及び合宿団体等への意向確認調査結果等を勘案し、施設使用料補助金については、支援の上限を設けるなど要綱の改正等を含めた積算としたものである。</p>						
査定内容						
事業費精査の上、要求どおり予算計上(△30.0万円)						

平成30年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	08	協働
取組の基本方針	01	協働のまちづくりの推進

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	03	若い世代の結婚・出産・子育てを支援する
-------------------------	----	---------------------

事業名	男女の出会いの場づくり支援事業
担当課	企画政策部企画課

目的と 事業概要	総合戦略における未婚化・晩婚化に対する取組みとして、独身男女の出会いを支援するとともに、市の魅力をPRすることにより定住人口、交流人口の増加を図る。また、幅広い年代の集客と魅力あるイベント内容とするため、民間委託により実施する。
-------------	--

前年度までの 実施内容 と効果	<p><平成27年度> 平成28年1月9日(土)にEBRI(エブリ)を会場に、独身男女による「E-night!(イー・ナイト)」を開催。市内及び近郊にお住まいの概ね25歳～40歳の男女106名が参加し、カップリングが7組成立した。</p> <p><平成28年度> 平成28年8月27日(土)に陶芸工房アトリエ陶にて「土器コン」を開催。陶芸・野菜収穫・流しラーメン体験などの内容で実施。市内及び近郊にお住まいの概ね25歳～40歳の男女38名が参加し、カップリングが10組成立した。</p> <p>平成29年3月4日(土)に原始林ボウルにて「ボウリング婚」を開催。ボウリングとジンギスカンパーティ等を実施。市内及び近郊にお住まいの概ね25歳～40歳の男女31名が参加し、カップリングが5組成立した。</p> <p><平成29年度> 平成29年8月27日(日)にえべつ角山パークランドにて「スポ婚inえべつ」を開催。パークゴルフとジンギスカンパーティ等を実施。市内及び近郊にお住まいの概ね25歳～40歳の男女24名が参加し、カップリングが5組成立した。</p> <p>※冬季に開催するイベントについては、現在調整中。</p>
-----------------------	---

H30年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>イベント実施回数の見直しについて(年2回⇒年1回) 平成28～29年度は夏季と冬季の年2回実施しているが、冬季は開催場所の制約も多いことから、平成30年度は夏季イベントに集約し、1回当たりのイベント参加人数を増やすことにより(30人⇒40人)、効果的にイベントを開催することとする。</p> <p>【実施内容】</p> <p>①年1回イベントを開催する ②独身男女の出会いの場を支援する ③市の魅力をPRする内容とする</p>
----------------	--

(単位:万円)

予算状況	H28決算	H29予算	H30要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
一般委託料	89.3	80.0	50.0	△30.0	50.0	
報償費					1.0	1.0
計	89.3	80.0	50.0	△30.0	51.0	1.0
財源						
内 国・道支出金						
市債						
内 其他					50.0	50.0
財 一般財源	89.3	80.0	50.0	△30.0	1.0	△49.0
主な増減理由(前年比)						
取組内容の見直しによるイベント実施回数減。(年2回から年1回)						
査定内容						
事業費精査の上、要求どおり予算計上(+1.0万円)						